

目 次

P1 県支部活動の活性化を目指して 《活動報告》	県支部長 福田 一郎
P2 日産自動車（株）栃木工場見学報告	県支部会員 羽山 定治
P3 講習会「令和 6 年度_技術士を志す方への情報提供講座」の報告	県支部幹事 宮下 治
《特 集》	
P4 協賛団体若手技術者の紹介	株式会社栃エスアイエイ環境事務所 野中 優 氏
P5 年次大会の報告	県支部幹事 島田 源一
P6 講演会の報告	県支部幹事 石附 尚志
P7 交流会の報告	県支部幹事 西谷 元則
P8 新組織図	県支部 総務委員会
P9 新役員のあいさつ	県支部幹事 富田 卓哉 県支部幹事 吉岡 雅也
P9 編集後記	県支部広報委員長 西谷 元則
P10 協賛団体紹介	

県支部活動の活性化を目指して

県支部長 福田 一郎

去る7月9日の統括本部理事会で栃木県支部長に再任されました福田です。2期目3年目を迎え、これまで支部会員の皆さんが積み重ねてきて下さった実績を踏まえ、微力ですが支部運営の一端を担っていきたいと思っています。引き続き、会員、協賛団体・関係機関皆様の御協力、御支援をお願いいたします。

また、今年度はより活動し易い委員会となるよう組織を簡素化し内容も見直しましたので、新幹事2名を含めた14名の幹事と共に支部運営に努力して参りたいと思っています。

今年度の執行方針や行事等につきましては7月5日の年次大会で示したところですが、特に次の3点に重点を置いて活動して参ります。

1) 支部活動の活性化

会員221名（正会員157名 準会員64名 17部門）の各人がそれぞれの立場で支部活動に参加できるよう、ご意見を伺いながら支部を活性化していきたいと考えています。

また、技術士を目指す女性技術者に対しても情報交換の場を引き続き提供していきたいと思っています。

2) 会員の資質向上

現代社会は高齢化、少子化、地球規模での気候変動への対応等課題が山積しています。我々技術士はこれらの社会環境の変化に的確に対応できるよう、日々自己研鑽を継続的に行う責務があります。このため、講演会、見学会等のCPD活動をさらに充実して参ります。

3) 地域社会貢献



中小企業支援やサイエンスカフェの開催、地域防災力向上に資する産学官と連携など、協賛団体（34 者）にも引き続きご支援をお願いし、技術を通して地域との懸け橋となれるよう努力して参ります。

最後に、これらを着実に実行していくため、特に「挑戦」「継続」「連携」に意を用いて、会員に開かれた支部運営をしていきたいと思っています。あらためて会員皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

《活動報告》

日産自動車（株）栃木工場見学報告

県支部会員 羽山 定治

1. 日時：2024年12月9日（月）13時～15時
2. 参加者：15名
3. 見学内容

はじめにゲストホールにて栃木工場の概要説明があり、栃木工場は日産自動車のなかで最も広く完成車及び主要部品を生産しているマザー工場になっている。次に、板金溶接構造ドア、塗装工程、日産インテリジェントファクトリー、電気自動車（EV）の構造等の新しい技術の展示を見学した。次にバスで製造現場まで行き工場見学をしたが、当日は大きなメンテナンスのために全工場が停止状態であった。塗装工場では塗装シアターにより塗装工程の説明を受けた。塗装品質確保のために塗装はクリーンルーム内で実施していた。板金部とバンパー（樹脂）の同時塗装により工数低減されており、この技術は日本初とのことである。次に新型電気自動車アリアの製造現場を見学した。工場内では無人搬送車による部品供給方式になっていた。はじめにパワートレインの一括搭載システムの自動組立ラインを見学した。このラインは日産インテリジェントファクトリーラインで熟練工の技を自動化し、ロボットにセンサーを取付けることにより組立品質を確保している無人組立ラインである。このシステムは日本初の最新鋭自動組立システムである。次にロボットによる完成車の外観検査の様子、完成車の試運転ステーションの見学をした。電気自動車アリアの注文客はほとんどが海外で、価格は600万円～とのことであるが、リーフより高級車であるが、量産状態であった。写真-2はEV用モータのロータであるが、レアメタルなどの必要な高価な永久磁石を使用していない日産独自技術のモータを電気自動車に使用している。

今回の見学で日産自動車は高度な技術を持っていることを改めて認識したが、経営状態は厳しく追浜工場の閉鎖など大きなリスクを進めている。日産自動車は2010年に世界初の量産EV車リーフを販売しており、再び世界で輝く技術の日産自動車として頑張ってもらいたいと思う次第である。



写真-1 参加者全員の記念写真

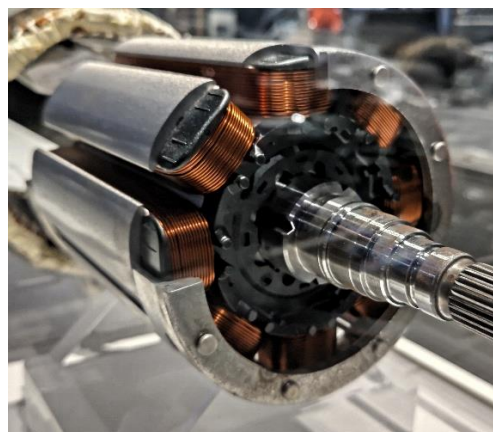


写真-2 EV用モータのロータ

講習会「令和6年度_技術士を志す方への情報提供講座」の報告

本講習会は、「土木学会関東支部栃木会」、「公益社団法人日本技術士会栃木県支部」の共催です。

目的は「技術士を志す方」に対して、合格された方からの受験体験談を発表と今後の受験に向けて講師・技術士とのフリートーキングを行い、技術士について理解を深めて頂くための講習会です。開催は令和7年2月21日（土）18～20時、会場は栃木県職員会館ニューみくら会議室です。参加者は、産業界、官公庁等から合計23名でした。

講師は、一次試験合格者の阿部萌花氏（栃都市開発コンサルタント）、二次試験合格者の伊藤壮太氏（栃木県宇都宮土木事務所）、総合技術監理部門の斎藤宏行氏（栃木県県土整備部道路整備課）の3名の方にご協力を頂きました。

阿部氏の講演は、以下のとおりです。試験対策は、試験2か月前は平日2時間、試験1か月前からは休日5時間を加えました。参考テキストは、ユーキャンの技術士第一試験基礎・適正です。試験当日の準備は大事です。持ち物の確認などは思い込みで行わないことが大切です。今後の目標は、技術士受験です。

伊藤氏の講演は、以下のとおりです。筆記試験は、論文構成、重要テーマ、過去問の分析と国の政策が重要で自分の意見に固執しない方が評価を得られます。口頭試験は、想定問題の作成、模擬面接の活用です。口頭試験官は顧客と思って対応しました。成功の秘訣は、継続的な努力と計画的な勉強が重要である。

県支部幹事 宮下 治



阿部萌花氏



伊藤壮太氏



斎藤宏行氏



宇都宮大学准教授
海野久康氏

斎藤氏の講演は、以下のとおりです。筆記試験は 4～5 月は択一式問題の過去 5 年分、6～7 月は記述式の過去 5 年分を勉強しました。前年問題については解答を作成する。口頭試験のために筆記試験答案を復元する。口頭試験の対策は、「業務経歴」「業務内容の詳細」の再整理と 5 つの管理技術を身につけてきた過程、総監技術が役立っていることの確認です。

フリーターキングでは、宇都宮大学海野准教授の進行で技術士試験勉強についての質問が多数ありました。

会場に来られた方に加え、多くの技術者が技術士一次・二次試験を受験されることを期待したいと思います。



情報提供講座の様子

《特 集》

協賛団体若手技術者の紹介

1. 自己紹介

株式会社エスアイエイ環境事務所

調査課 野中 優 氏

趣味：生きもの観察、ツーリング、音楽鑑賞等。

とにかく生きものが好きで、仕事でもプライベートでも生きものを見ています。栃木県に

は里地里山、田園地帯、山地、高山帯、湿原、ヨシ原など様々な環境があるので、沢山の生きものを見ることが出来ます。また、調査で出向いた各地でご当地牛乳を飲むことも趣味のひとつです。



2 経歴

2019 年 3 月 大阪 ECO 動物海洋専門学校 野生 & 環境保護専攻 卒業

2024 年 8 月 株式会社エスアイエイ環境事務所 入社

3 若手技術者

・入社した動機

専門学校卒業後に栃木県で自然ガイドをしており、栃木が大好きになりました。その後しばらく関西でフリーランスの生物調査員をしていましたが、より良い調査をする為には現地調査だけでなく、事前準備から報告書作成まで一貫したスキルが必要だと感じるようになりました。そこで、自然を相手に仕事をするのであれば大好きな栃木がいい！と心に決め、結婚を機に夫にも転職してもらい、これまで培った実力を活かしさらなるスキルアップを目指して入社しました。

・現在の仕事

主に、各種公共事業や民間事業に伴う生物調査を行っています。私がメインで担当しているのはクマタカやオオタカ等の猛禽類調査ですが、当社では他にも哺乳類、昆虫類、植物、魚類、底生生物の調査、ドローン空撮、GISによる作図など様々な業務を行っています。

人と生きものを繋げるこの仕事はとても難しいと感じています。しかし、自分たちの仕事が希少な動植物が生存していける最後の砦になるかも！と、やりがいも感じています。

- ・現在の興味ある仕事

ドローンを使用した野生動物の調査をしてみたいです。

- ・技術士に向けて

まだまだ先になるとは思いますが、少しずつ勉強していきたいと思っています。

- ・将来の目標

人と生きものの軋轢のない社会を築くのが目標です。人と動植物と環境全てに配慮したコンサルティングができるよう、これからも知識と技術を高めていきたい所存です。

年次大会の報告

県支部幹事 島田 源一

令和7年度の日本技術士会栃木県支部の年次大会は、令和7年7月5日（土）ニューみくら（宇都宮市）にて対面形式で開催されました。

年次大会には、来賓6名、協賛団体4団体、会員43名が参加し、令和6年度の活動および収支報告、令和7年度の活動方針や委員会組織の変更、さらに各委員会別に事業計画が報告されています。

司会は亀田副支部長による進行で、以下の内容が報告されました。

（1）県支部長挨拶

多くの会員の皆様のご理解ご協力をいただき、栃木県支部も発足以来14年を迎えることとなりました。本年度は役員改選があり、新たに2名の幹事が就任し、15名体制での年次大会開催となりました。また、前栃木県支部長の黒須重富さんが、日本技術士会の会長表彰を受賞されたことが報告されました。現在県支部は会員221名、協賛団体34社の皆様とともに、引き続き活発な県支部活動を展開していきたいとの挨拶でした。



写真1 福田支部長挨拶

（2）報告事項

1）令和6年度事業経過報告について

事業の経過報告及び各委員会の活動について、福田支部長が報告しました。

一昨年5月にコロナ禍による行動制限が解除され支部活動も従前のように戻ってきました。年間を通じて支部活動の着実な成果を積み重ね、会員のための講演会、CPD研修などは対面方式とWeb配信のハイブリッド開催により実施しました。

新たに設立した男女共同参画小委員会の活動や、理科教室活動、中小企業支援や国際委員会なども活動を重ねてきたことが報告されました。

2）令和6年度収支報告、令和7年度収支予算計画について

令和6年度の収支報告及び令和7年度の収支予算計画について、水野総務委員会副委員長が

報告しています。

3) 令和7年度活動方針について

福田支部長から、委員会組織の変更及び令和7年度の役員（案）、引き続き次の活動方針が説明されました。

- ① 県支部活動の実績を踏まえ、“会員の顔が見える会”を旗印として、会員の拡大と各委員会の活性化による支部の強化とともに、会員及び協賛団体のために CPD 講座や見学会、研修会を充実させる。
- ② “地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋”となるよう、地域が抱える課題に対して社会貢献活動を展開する。特に、サイエンスカフェ等での理科教育活動、関東8県支部連絡会議を通しての防災支援活動の情報共有や研修、一昨年新たに設置した男女共同参画推進に資する活動等に努める。
- ③ 中小企業を支援する業務に拡大を図る。そのために、中小企業をサポートする関係機関に、技術士業務の案内や具体的な支援内容を紹介するとともに、依頼された業務の質の向上に努める。
- ④ 中国浙江省科技交流和人材服務中心と引き続き技術交流を深め、具体的な成果に結び付ける。

以上の方針に沿った支部運営にあたっては、幹事一同「挑戦」「継続」「連携」に特に意を用い、各委員会を中心として活動を通して本会の活性化に努めたいと報告がありました。

2) 令和7年度事業計画

総務委員会（水野副委員長）、企画研修委員会（石附委員長）、広報委員会（西谷委員長）、男女共同参画推進委員会（井本委員長）、企業支援委員会（日高委員長）、国際委員会（亀田委員長）、地域社会貢献委員会（西谷委員長）、防災支援委員会（島田委員長）の各委員長から、それぞれの委員会活動について令和6年度の実績と令和7年度の計画の説明がありました。



写真2 年次大会の様子

講演会の報告

1. 令和7年度の本部総会は7月5日（土）に開催され、出席者は来賓、会員等約40名でした。講演会の概要を報告します。

2. 講演 演題：「栃木県の産業政策について」

講師：栃木県産業労働部工業振興課長 郷 秀憲 様

栃木県では、令和3年度から「とちぎ未来創造プラン」を推進しており、令和7年度に改定の時期を迎える。製造業は第2次産業の中で構成比44.3%を占め、全国第3位の「ものづくり県」としての地位を確立。令和4年度の製造品出荷額は全国13位で、過去最高の9兆4,783億円に達し、主に自動車や航空機部品などの輸送機械関連が中心となっている。

県支部幹事 石附 尚志



写真3 郷 講師

県は「新とちぎ産業成長戦略」を策定し、Society5.0時代に対応する産業構造の転換を進めている。現在、6つの重点プロジェクトと2つの基盤施策をもとに、AI・IoTの導入促進、スタートアップ支援、産業の高付加価値化などに取り組んでいる。令和5年度時点でAI・IoTを導入している県内事業所の割合は21%で、令和7年度には30%を目指す。

具体的には、「次世代産業創造プロジェクト」や「とちぎビジネスAIセンター」などを通じ、スタートアップ企業の創出・育成を進めており、企業の組織改革や新技術による付加価値向上を図る。また、戦略3産業（自動車、航空宇宙、医療福祉機器）や未来3技術（AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材）への重点支援も行い、ものづくり県としての更なる発展を目指している。

このほか、企業誘致にも力を入れており、産業団地の整備や半導体・蓄電池関連企業への補助金支援を通じて、本社や研究所、工場の誘致と定着促進を図る。また「とちぎ国際戦略」に基づき、海外展開を目指す企業に対する支援を段階的に行っており、令和6年には「とちぎベトナムサポートハブ」を設置した。

さらに、増加する外国人労働者への支援体制も強化しており、令和6年度の外国人住民は55,762名、労働者は35,569名に達している。観光戦略では、デジタルとリアルを組み合わせたPR手法で外国人観光客の誘致を強化している。

一方、若者の県外流出により産業人材の確保が課題となっており、AI人材育成研修や女性・外国人の就労支援、産業向け職業訓練などによって、働きやすい環境づくりと人材確保を推進中である。加えて、カーボンニュートラルに向けた施策にも注力し、挑戦的な企業の掘り起こしや誘致、新市場への対応にも積極的に取り組んでいる。

交流会（新合格者祝賀会）の報告

県支部幹事 西谷 元則

令和7年度の栃木県支部の年次大会、講演会の後、会場を隣に移して、技術士一次試験合格者及び二次試験合格者の方々を招待しての「交流会（新合格者祝賀会）」（以下「祝賀会・交流会」と称す）が催されました。祝賀会・交流会は、隣との間隔をゆったりと取った明るく和やかな雰囲気の中で、進んで行きました。

会場の一角には、令和6年度の技術士二次試験合格者の山木雅彦氏（上下水道部門）、中野泰宏氏（機械部門）、永田圭佑氏（経営工学）、一次試験合格された上關了資氏（建設部門）、岡 頌明氏（環境部門）、牛来聡志氏（上下水道部門）、酒井詩織氏（上下水道部門）、（下写真のm右から並びに順）の7名が出席されました。

合格されたお一人お一人に自己紹介とご挨拶いただき、今後の抱負などを話していただきました。

この中にはすでに会員に登録されている方もいらっしゃいましたが、一次合格者のも、早く二次試験に合格していただき、栃木県支部の一員として入会していただければと思っています。

栃木県支部でも、高齢化が進み活力となる人材となるように期待しております。

一次試験者でも活動に参加できますのでご参加ください。



写真4 新合格者

栃木県支部	最高顧問・名誉会員 田仲喜一郎（農業） 特別顧問 菅井俊郎（経営工学） 小黒幸市（建設） 黒須重富（建設・総監） 参与 久芳良則（衛生工学・総監）	総務部門	総務委員会 委員長 小川 正順（農業） 副委員長 島田 源一（建設・総監） 谷口 雅昭（建設） 徳江 義宏（環境） 水野 潤（建設・環境） 吉岡 雅也（建設）	管理内容 ・年次大会及び役員会の開催 ・支部の外部との窓口と調整 ・他委員会との調整 ・予算管理及び事業執行と進捗管理 ・支部事務所の管理 ・会員の拡大	
	支部長 福田 一郎（建設・総監） 副支部長 小川 正順（農業） 亀田 則男（建設） 西谷 元則（上下水道） 幹事 石附 尚志（電気・電子） 井本 郁子（総監・建設・環境） 島田 源一（建設・総合） 谷口 雅昭（建設） 徳江 義宏（環境） 富田 卓哉（電気電子・総監） 日高 倫明（機械） 水野 潤（建設・環境） 吉岡 雅也（建設） 会計幹事 新井 達雄（建設） 宮下 治（上下水道） 会員 221名 内進会員（64名） 協賛団体 34社 宇都宮測量(株) (株)エース設計 (株)エスアイエイ環境事務所 (株)格和測量設計 (株)工藤設計 (株)景観プランニング (株)シー・アイ・エス (株)真和技研 (株)篠原設計 (株)ダイミック (株)中央土木工学研究所 (株)都市環境設計室 (株)都市開発コンサルタント (株)栃木県用地補 (株)ピーシーレールウェイコンサルタント (株)富貴沢建設コンサルタンツ (株)水環境プランニング (株)安田測量 (株)緑生研究所 協和測量設計(株) 晃洋設計測量(株) ダイヤコンサルタント(株)関東支社宇都 東亜サーバイ(株) 東洋測量設計(株) 栃木県庁技術士OB会 栃木県庁職員技術士会 日研測量(株) 日本測地(株) 日昌測量設計(株) パスキン工業(株) 富士コンサルタンツ(株) フジ測量設計(株) 芙蓉地質(株) 前田製管(株)		企画・研修委員会 委員長 石附 尚志（電気・電子） 副委員長 亀田 則男（建設） 富田 卓哉（電気電子・総監） 日高 倫明（機械） 山本 義紀（環境）	管理内容 ・講演会、見学会、倫理講座 ・科学技術講演会、地域、協賛団体にも役立つ講演会の実施 ・技術士を目指す技術者との交流を通じての支援	
	広報委員会 委員長 西谷 元則（上下水道） 副委員長 大島 晃二（機械） 徳江 義宏（環境） 吉岡 雅也（建設）		管理内容 ・会員及び対外への情報発信 ・会報の発刊、ホームページの管理		
	男女共同参画推進委員会 委員長 井本 郁子（総監・建設・環境） 副委員長 三浦(生出) 理子（金属） 徳江 義宏（環境）		管理内容 ・女性技術者の育成・支援。 ・技術者社会におけるダイバーシティの実現。		
	企業支援委員会 委員長 日高 倫明（機械） 副委員長 石附 尚志（電気電子） 渡辺 英倫（機械）		事業内容 ・栃木県産業団体の情報提供 ・新規支援業務開拓 ・栃木産業振興ネットワーク活動 支援業務情報の整備		
	公益部門		公益部門	国際委員会 委員長 亀田 則男（建設） 副委員長 島田 源一（建設・総監） 田崎 瑞穂（建設） 羽山 定治（機械）	事業内容 ・中国浙江省科技交流和人材服務中心との技術交流・招聘事業の実施 ・日韓技術士国際会議への参加 ・栃木県国際交流行政への協力
				地域社会貢献委員会 委員長 西谷 元則（上下水道） 副委員長 井本 郁子（総監・建設・環境） 徳江 義宏（環境） 富田 卓哉（電気電子・総監） 水野 潤（建設・環境）	事業内容 ・とちの環県民会議への協力 ・サイエンスカフェの開催 ・自然環境や再生可能エネルギー関連の調査研究 ・市貝プロジェクト活動
				防災支援委員会 委員長 島田 源一（建設・総監） 副委員長 亀田 則男（建設） 池田 友浩（建設）	事業内容 ・関東甲信県支部防災連絡会議 ・防災支援

新役員のあいさつ

富田 卓哉（電気電子・総監部門）

この度、栃木県支部幹事を拝命しました富田です。
企画・研修委員会と地域社会貢献委員会に所属いたします。
近年、理科離れが進んでいますが、私たちの社会や生活に深く結びついている「科学」の楽しさを、少しでも伝えていきたいと考えています。
微力ではございますが、県支部の会員のみなさまや役員のみなさまのお役に立てるよう研鑽してまいります。
ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



吉岡 雅也（建設部門）

この度、栃木県支部幹事を拝命いたしました吉岡です。総務委員会に所属いたします。近年社会情勢が変化するなか、自らがそれに追従するだけでは、課題に対応できない時代に入ってきています。技術士会の基本理念の中に、資質の向上や社会貢献活動が明記されています。つまり、この理念と活動を通して、技術士として社会での役割を、果たしていくのが大事だと痛感します。
栃木県支部の一員として頑張る所存です。至らない点が多々ありますが、お役に立てるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



編集後記

今年は支部役員の選挙があり、これまで尽力いただいた2名が退任され、新たに富田幹事、吉岡幹事が選任されました。これからのご活躍に期待しております。
組織体制もシンプルに小委員会が廃止され、委員会のみ構成になり活動がわかりやすくなったと思います。会員・準会員の皆様どこかの委員会に所属して活動と一緒にやりましょう！
さらに、特別顧問である前黒須支部長が会長賞を受賞されました。おめでとうございます。現職の時はリーダーとして県支部の運営に力を注ぎ6年間支部長でありました。今の支部活動基礎を作って頂きました。今後も私たちの活動のアドバイザーとして支えてください。
特集で協賛団体の若手技術者紹介を行っています。準会員（技術士補）の方々も県支部活動に参加していただき、栃木県の「地域と文化と技術の架け橋に！」貢献していただきたいと思います。人脈づくりや取引の拡大、知見を広げるなど多くのメリットがありますので、ぜひ活動への参加をお待ちしております。
本会報の発刊にあたりご協力いただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

公益社団法人 日本技術士会 栃木県支部 会報 第23号 2025年8月発行

発行 者：栃木県支部（支部長 福田 一郎）

広報委員会：委員長 西谷元則

副委員長 徳江義宏、吉岡 雅也、大島晃二

委 員 大岩正通

事務局：〒321-0954 宇都宮市元今泉5丁目9-7 宇都宮まちづくりセンター内

Tel：028-678-8600/Fax：028-678-8630

～栃木県支部を支えていただいている～協賛団体（五十音順）

 宇都宮測量株式会社	 SIA Environmental Office 株式会社 エスアイエイ 環境事務所
 株式会社 エース設計	 KUDOU SEKKEI 株式会社 工藤設計
 株式会社 格和測量設計	 KYOWA 協和測量設計株式会社
 株式会社 景観プランニング	 晃洋設計測量株式会社
 建設コンサルタント 株式会社 シー・アイ・エス Construction Information Service	 株式会社 篠原設計
 株式会社 真和技研	 大日本ダイヤコンサルタント 関東支社 宇都宮支店
 DAIMICK 株式会社 ダイミック	 CER 株式会社 中央土木工学研究 Central Civil Engineering Research Co., Ltd
 TOA SURVEY 東亜サーベイ株式会社	 東洋測量設計 株式 会社
 URC 建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量全般 株式会社 都市開発コンサルタント	 株式会社 都市と自然をつなぐ。 都市環境設計室
 株式会社 栃木県用地補償コンサルタント	一栃木県職員退職者の熟練技術者～ 栃木県庁 OB 職員技術士会
栃木県県庁職員技術士会	 日研測量株式会社
 日昌測量設計株式会社 NISSHO SURVEYING DESIGN CO.,LTD	 NS 日本測地株式会社
 コンクリート製造販売・建設コンサルタント パスキン工業株式会社	 PCRW 株式会社 ビーシーレールウェイコンサルタント
 株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ	 富士コンサルタンツ株式会社
 フジ測量設計株式会社	 芙蓉地質株式会社
 前田製管株式会社	 株式会社 EP 水環境プランニング
 株式会社 安田測量	 株式会社 緑生研究所